



自治体消防70周年記念事業表彰を受賞

平成30年3月7日（水）東京両国国技館で、自治体消防70周年記念式典が執り行われました。その中で、優良民間防火組織「幼年消防クラブ」の部で、これまでの活動の功績が称えられ「若草幼稚園幼年消防クラブ」が自治体消防70周年記念事業表彰を受賞しました。

表彰式は、平成30年5月18日（金）消防本部で行われた、平成30年度常陸大宮市防火委員会定例総会で行われ、川澄消防長から壺井園長へ賞状と記念品が贈呈されました。若草幼稚園幼年消防クラブは、昭和59年に発足以来、園児に対し幼児期から火災予防に関する知識の教育を継続してきました。



▲左から川澄消防長、壺井園長

救急車を適正に利用しましょう

当本部では、東消防署2台、西消防署1台の計3台の救急車を所有しており、市民の生命を守るため昼夜を問わず出動しています。

安易に救急車を要請すると、重篤な傷病者が救急車を要請したい場合に、状況により市外の消防署に救急車を要請することにより、救急車の到着が遅れ、助かる命が助からなくなる恐れがあります。軽い病気や怪我など、緊急性がなく自分や家族によって病院へ行ける場合には、119番通報でなく救急電話相談サービスを利用して、救急車以外の交通手段等を活用するようお願いいたします。

しかし、意識や呼吸がない、ろれつが回らない、突然の後頭部の痛み、胸が締め付けられるような痛みなどの症状から急いで病院へ行った方がよいと思った時には、迷わず救急車を要請してください。本当に必要な人が必要な時に、救急車を利用できるように皆様のご理解、ご協力をお願いします。



救急医療情報コントロールセンター

休日や夜間に医療機関をお探しの際は、救急医療情報コントロールセンターにお問い合わせください。近隣の医療機関を24時間体制で案内します。（歯科の案内は行っていません）

☎029 - 241 - 4199

茨城子ども救急電話相談

休日や夜間に子どもが急な病気などで具合が悪い時は、茨城子ども救急電話相談「#8000」をご利用ください。対応してくれる看護師からの症状の判断や助言を聞くことができます。

平日 18:30～翌朝8:00

土曜日 8:00～翌朝8:00

※休日：日曜日、祝日、年末年始（12月29日～1月3日）

プッシュ回線の固定電話、携帯電話から短縮ダイヤル #8000、または☎029 - 241 - 4199

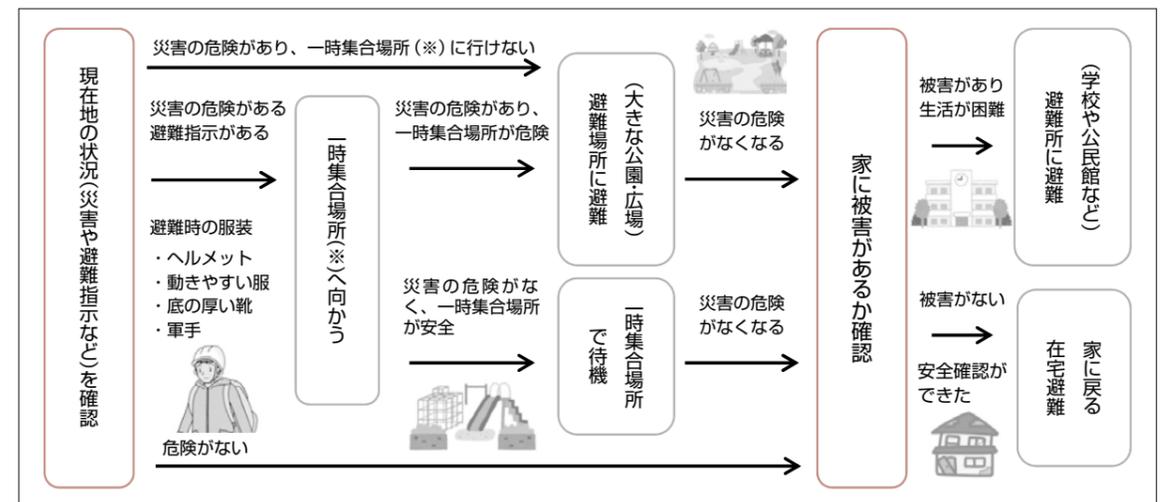
いざというときに 避難について再確認しよう！

異常気象による豪雨災害や地震など、様々な災害が全国で起こっています。普段生活している中でそのような災害が発生した時、迅速に避難できるよう確認しましょう。

下記は地震災害時の避難について説明しています。

注意：地域の特性により避難の流れが決められている場合もありますので、それぞれの地域に沿った避難方法で避難してください。

(※)一時(いっとき)集会所…避難場所へ避難する前に近隣の避難者が一時的に集合する場所



人 避難のタイミング

避難するかしないかは人任せにせず、上記を参考にして判断してください。（※その地域により避難の仕方が変わります。）

人 家の内外を目視する

火の始末や避難経路の確保など、しっかりまわりの状況を目視します。

人 SNSを活用する

TwitterやFacebookなどのSNSは貴重な情報源です。正しい情報を得るようにしましょう。

人 避難の判断

様々な媒体から正しい情報を得るようにしましょう。

人 むやみに動く危険

まずは落ち着いて、家族と家の中の安全を確認。その後、周辺で危険な物・建物や火災などを自分の目と耳で確かめます。

人 自宅以外で安全ならその場にとどまる

会社や学校の安全が確認されたら、すぐに帰宅せずその場にとどまって様子を見ます。災害直後の連絡方法や行動をあらかじめ家族と話し合っておきましょう。

人 家族の状況を確認

発避難行動にうつる前に一緒にいる家族同士でケガがないか、家に危険がないか確認します。

人 近所の安否確認

近隣で避難の手助けを必要としている人がいないかを確認。助け合うことが大事です。

■問い合わせ■ 消防本部 ☎54 - 0119